

札幌丘珠空港ビル株式会社  
平成30年度 経営情報  
(平成31年3月末日現在)

1 事業者の概要及び事業の概況

(1) 基本的事項

商号	札幌丘珠空港ビル株式会社 Sapporo Okadama Airport Building Co.,Ltd
所在地	札幌市東区丘珠町丘珠空港内
設立年月日	平成2年5月23日
資本金	4億9,800万円

(2) 事業者が行う事業の内容

① 主な事業

- ・ 貸室業及び空港利用施設の賃貸業
- ・ 航空事業者、航空旅客及び航空貨物に対する役務の提供

② 附帯事業

- ・ 食品・清涼飲料・煙草・旅行用品及び観光土産品の販売
- ・ 旅客及び送迎客に対して、見学・送迎施設や待合室の提供、その他サービスの提供
- ・ 広告宣伝業

(3) 役員の地位、氏名及び重要な兼職の状況

第29期事業報告書(P5「取締役及び監査役」)に記載のとおりです。

(4) 事業の概況

第29期事業報告書(P1「事業の概況」)に記載のとおりです。

2 第29期事業報告書

(1) 事業の概況 (P1～P4)

(2) 会社概要 (P4～P5)

(3) 計算書類等 (P6～P9)

3 設備の状況

(1) 既存設備の状況 (単位:千円)

設備の内容	帳簿価格				合計
	建物	建物付属設備	器具備品	その他	
旅客ビル	388,551	70,169	12,475	6,800	477,995

(2) 設備の新設・除去等の計画

今期は、送迎デッキのフェンス改修工事及びデジタルサイネージの導入工事を実施し、設備投資の総額は21,204千円となりました。

# 事業報告

自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日

## I 事業の概況

### 1 事業の経過及び成果

当空港においては、HAC（株北海道エアシステム）がJAL便化されてから3年目を迎え、ビジネス客を中心に利用が定着してきて乗降客数が順調に推移したこと、また、FDA（株フジドリームエアラインズ）の静岡線（1往復/日：夏ダイヤの平成30年3月25日から10月27日まで）が3年目を迎えるとともに、平成30年8月8日から8月31日までの24日間新規に開設した松本線（1往復/日）及び増便した静岡線（1往復/日の増）を運航したこと等により、年間乗降客数は264,380人と、対前年度比13,412人（5.3%）の増となり、搭乗率も77.7%と、対前年度比で1.4ポイント上昇いたしました。

【路線別 乗降客数】

路線		乗降客数（人）			搭乗率（%）		
		平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	対前年度比 (%) (A/B)	平成30年度 (C)	平成29年度 (D)	対前年度比 (ポイント) (C) - (D)
HAC	函館	118,991	113,335	5.0	80.8	79.1	1.7
	釧路	75,220	72,623	3.6	78.6	76.0	2.6
	利尻	22,038	21,779	1.2	80.1	78.9	1.2
	三沢（八戸）	18,698	15,107	23.8	69.3	62.5	6.8
	定期便計	234,947	222,844	5.4	79.0	76.7	2.3
FDA	静岡	26,667	26,509	0.6	68.9	73.8	-4.9
	松本	2,616	—	—	65.1	—	—
	定期便計	29,283	26,509	10.5	68.6	73.8	-5.2
定期便計		264,230	249,353	6.0	77.7	76.4	1.3
FDA (チャーター)	名古屋（小牧）	—	1,379	—	—	74.6	—
	庄内	—	40	—	—	47.6	—
	新潟	—	40	—	—	47.6	—
	広島	150	156	-3.8	89.3	92.9	-3.6
チャーター便計		150	1,615	-90.7	89.3	73.9	15.4
合計		264,380	250,968	5.3	77.7	76.3	1.4

参考：函館⇄奥尻	9,204	10,745	-14.4	39.7	45.0	-5.3
----------	-------	--------	-------	------	------	------

## 2 経営状況

営業収益については、直営売店の売上増により売上高は183,443千円（対前年度比4.0%増）となり、売上原価を差し引いた売上総利益は149,935千円（対前年度比1.3%増）となりました。

営業費用では、送迎デッキの床面防水工事を実施したこと等の結果146,268千円（対前年度比8.9%増）となり、営業利益金額は3,667千円となりました。

営業外収入として、バスダイヤや観光情報をモニターで表示するデジタルサイネージ導入工事に係る助成金収入等があったことから、経常利益金額は12,438千円、当期純利益金額は8,109千円となりました。

資金の状況については、航空保安対策の一環として送迎デッキのフェンス改修工事や利用者サービス向上のためデジタルサイネージの導入工事を実施した結果、現預金は299,388千円（対前年度比7,909千円・2.7%増）となったところであります。

## 3 今後対処すべき課題

当空港にとっては、HAC及びFDAの利用促進が必要不可欠であり、HACは、所有する航空機（SAAB 340B：36席）3機を、令和2年度中に順次更新（ATR42-600型：48席）していく予定であること、また、FDAは、平成30年8月8日から8月31日までの24日間新規に開設した松本線（1往復/日）及び増便した静岡線（1往復/日の増）について、令和元年度は7月12日から9月24日までの75日間に運航期間を拡大することから、更なる乗降客の増加が見込まれます。特に、静岡線及び松本線はJALとのコードシェア便であり、HACが運航する丘珠発着の路線（JAL便）との乗継による相乗効果が見込まれるため、当社としても引き続き両航空会社、空港関係者等と連携し、乗降客の増加対策に取り組んで参ります。

また、当空港ビルは平成4年の開業から27年が経過し、建物の保全費用増が見込まれるほか、令和元年度末にはバリアフリー対策工事（エレベーター新設等）を竣工させることから、今後も当社の経営は厳しい状況と見込まれるため、直営売店の商品の充実化を図るなどにより売上増に努めるとともに、引き続き、乗降客以外の皆様を対象とする各種の集客イベント等を実施することにより、当空港に親しみをもってもらい、地域に愛されるような空港作りを目指して参ります。

更に、北海道と札幌市が進めている丘珠空港の利活用に関する検討会議では、今後より深い議論が進められると見込まれることから、北海道や札幌市をはじめ様々な関係者と連携を図りながら同会議に参画するとともに、令和元年7月には北海道内7空港の民間委託に関する運営会社が選定されるため、その動向を注視するとともに、引き続き国、北海道、札幌市、経済界、道内空港ビル等の情報収集を図って参ります。

#### 4 設備投資の状況及び資金調達状況

今期は、送迎デッキのフェンス改修工事及びデジタルサイネージの導入工事を実施し、設備投資の総額は21,204千円となりました。

なお、この資金は、自己資金及びデジタルサイネージの導入工事に係る空港経営改革提案事業の助成金(3,577千円)をもって充当いたしました。

#### 5 入居者(平成31年3月31日現在)

- ① 航空会社  
株式会社北海道エアシステム(HAC)  
株式会社フジドリームエアラインズ(FDA)
- ② 飲食店  
丘珠キッチン(株式会社スコット)
- ③ 売店  
スカイショップおかだま(当社直営店)
- ④ レンタカー  
株式会社トヨタレンタリース札幌  
株式会社日産カーレンタルソリューション  
三愛自動車工業株式会社  
オリックス自動車株式会社  
株式会社ワズネットワーク  
株式会社トヨタレンタリース新札幌
- ⑤ その他  
札幌市  
北海道札幌方面東警察署丘珠空港警備派出所  
国際航空給油株式会社  
株式会社ジーエム北都  
株式会社日本空港コンサルタンツ  
共立航空撮影株式会社  
タイムズ24株式会社

## 6 業績の推移

単位 千円

回 次	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期 (当 期)
決 算 年 月	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月
売 上 高	166,849	169,746	176,393	183,443
営 業 利 益 金 額	21,214	12,920	13,676	3,667
経 常 利 益 金 額	22,391	16,814	16,396	12,438
当 期 純 利 益 金 額	8,457	5,270	10,451	8,109
一 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額	849 <sup>円</sup>	529 <sup>円</sup>	1,049 <sup>円</sup>	814 <sup>円</sup>
総 資 産	788,727	790,458	787,114	793,505
純 資 産	702,157	707,426	717,877	725,986

記載金額は、千円未満を端数処理しております。

## II 会社概要 (平成31年3月31日現在)

### 1 主要な事業内容

貸室並びに空港利用施設の賃貸業、航空事業者及び航空旅客に対する役務の提供等

### 2 株式の状況

- (1) 会社が発行する株式の総数 34,320 株  
 (2) 発行済株式の総数 9,960 株  
 (3) 当期末株主数 10 名

### 3 株主の状況

株 主 名	株 数(株)	持株比率(%)	株主に対する出資
札 幌 市	2,600	26.11	0
ANAホールディングス(株)	2,500	25.10	0
北 海 道	1,300	13.05	0
(株)日本政策投資銀行	1,300	13.05	0
札幌商工会議所	862	8.66	0
(株)北洋銀行	498	5.00	0
(株)北海道銀行	450	4.52	0
北海道電力(株)	200	2.01	0
北栄保険サービス(株)	150	1.50	0
北海道瓦斯(株)	100	1.00	0

#### 4 取締役及び監査役

役職名	氏名	摘要
代表取締役社長	吉岡 亨	札幌市副市長
常務取締役	小島 仁	
取締役	中田 雅幸	札幌市まちづくり政策局都市計画担当局長
同	竹花 賢一	北海道総合政策部航空局長
同	坂本 成次	(株)日本政策投資銀行北海道支店次長
同	水落 隆志	札幌商工会議所常務理事・事務局長
同	郷 雄司	(株)北洋銀行執行役員公務金融部長
同	清河 智英	(株)北海道銀行専務執行役員本店営業部本店長
同	藪下 裕己	北海道電力(株)取締役常務執行役員
同	末長 守人	北海道瓦斯(株)取締役常務執行役員
監査役	佐藤 馨一	北海道大学名誉教授
同	高野 一夫	高野公認会計士事務所 公認会計士 税理士

当期中の退任取締役

常務取締役 橋 俊明 (平成30年6月15日退任)

取締役 廣田 恭一 (平成30年6月15日退任)

取締役 阿部 浩文 (平成30年6月15日退任)

取締役 大木 孝志 (平成30年6月15日退任)

#### 5 主要な借入先・借入残額等

なし

#### 6 従業員の状況

単位 人

男・女別及び人員	
男性	1
女性	1
合計	2

(注) 上記には、嘱託社員(1人)及びパート社員(6人)は、含まれておりません。

# 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>312,821,881</b>	<b>流動負債</b>	<b>33,763,988</b>
現金及び預金	299,387,648	未払金	16,268,919
商品	1,556,820	未払法人税等	2,818,400
前払金	94,150	前受金	8,362,566
未収入金	11,053,863	預り金	434,839
未収消費税	729,400	賞与引当金	960,264
		仮受金	4,919,000
<b>固定資産</b>	<b>480,683,344</b>	<b>固定負債</b>	<b>33,755,099</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>477,995,077</b>	預り敷金・保証金	13,126,000
建物	388,551,186	退職給付引当金	20,629,099
建物付属設備	70,169,078		
工具器具備品	12,474,813		
建設仮勘定	6,800,000		
		<b>負債合計</b>	<b>67,519,087</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>2,383,567</b>	<b>純資産の部</b>	
電話加入権	218,400	<b>株主資本</b>	<b>725,986,138</b>
ソフトウェア	2,165,167	資本金	498,000,000
<b>投資等</b>	<b>304,700</b>	利益剰余金	227,986,138
保険積立金	3,200	利益準備金	15,000,000
保証金	301,500	その他利益剰余金	212,986,138
		別途積立金	100,000,000
		建設積立金	35,000,000
		繰越利益剰余金	77,986,138
		<b>純資産合計</b>	<b>725,986,138</b>
<b>資産合計</b>	<b>793,505,225</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>793,505,225</b>

# 損 益 計 算 書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	金 額	金 額
売 上 高 賃 貸 収 入 附 帯 事 業 収 入 商 品 売 上	130,917,928 8,199,219 44,325,820	183,442,967
売 上 原 価 期 首 商 品 棚 卸 高 商 品 仕 入 期 末 商 品 棚 卸 高	1,747,919 33,317,306 1,556,820	33,508,405
売 上 総 利 益		149,934,562
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費		146,267,959
営 業 利 益 金 額		3,666,603
営 業 外 収 益 受 取 利 息 雑 収 入	2,000 8,778,372	8,780,372
営 業 外 費 用 雑 損 失	8,814	8,814
経 常 利 益 金 額		12,438,161
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		12,438,161
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税		4,329,406
当 期 純 利 益 金 額		8,108,755



## 株主資本等変動計算書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

(単位 千円)

項 目	株 主 資 本							純 資 産 計
	資 本 金	利 益 剰 余 金					株 主 資 本 計	
		利 備 益 金	そ の 他 利 益 剰 余 金			利 剰 余 金 計		
			別 積 立 金	途 建 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金			
前期末残高	498,000	15,000	100,000	35,000	69,877	219,877	717,877	717,877
当期変動額								
剰余金から 準備金へ振替					0			
剰余金の内訳 科目間の振替					0			
当期純利益金額					8,109	8,109	8,109	8,109
当期変動額合計					8,109	8,109	8,109	8,109
当期末残高	498,000	15,000	100,000	35,000	77,986	227,986	725,986	725,986

## 個 別 注 記 表

### 1 重要な会計方針に係る事項

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品 最終仕入原価法による原価法によっております。

(2) 固定資産の減価償却方法

① 有形固定資産 定額法によっております。

② 無形固定資産 定額法によっております。

(3) 重要な引当金の計算基準

① 退職給付引当金 従業員の退職金支給に備えるため、退職金支給規則に基づき、当期末における退職金要支給額の当期分を計上しております。

② 賞与引当金 従業員に対する賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。

(4) 消費税の会計処理 税抜き方式によっております。

(5) リース取引の処理方法 ファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

### 2 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 会社が発行する株式の総数 34,320 株

(2) 発行済株式の総数 9,960 株

### 3 その他の注記

有形固定資産の減価償却累計額 938,709 千円